

学位論文アクセプトのご報告

西村明日香



新年明けましておめでとうございます。

大変恐縮ではございますが、この度初めての論文となるEffect of Pulmonary Vein Isolation on Rotor/Multiple Wavelet Dynamics in Persistent Atrial Fibrillation, Association with Vagal Response and Implications for Adjunctive Ablationがheart and vesselsにアクセプトされましたので、ご報告申し上げます。この論文作成にあたりまして、不整脈チームの原田准教授に多大なるお力添えをいただきました。本当にありがとうございました。

藤田に来てから2018年8月と2021年7月に出産を経験し、2022年4月に復帰してから現在4歳と1歳の娘たちと怒涛の日々を送っています。朝保育園に預ける際「ママアーー！」と後ろで泣き叫ぶ娘を背に駐車場へ走り、病院へ向かう日々も少し慣れ始めた頃に、ウイルスシャワーとも言われる保育園は甘くなく、姉妹の交互にくる熱発。現在コロナ禍では病児保育に預けるのも一苦労です。アブレーション中に保育園から娘が熱発につきお迎え要請の電話がかかってくることもあります。そんな中不整脈チームの先生方はみなさんパパ先生ということもあり、「大変だね、ここは任せて迎えに行っておいで」と言ってくれます。同じ医局員でばんたね病院勤務中の夫はもちろんのこと、たくさんの方々の支えがあって育児と仕事の両立をなんとか頑張れています。

原田先生から、長女が産まれたときに言っていた「働き方は子供の成長や年次などでも変化していくものです。今は大変かもしれませんが、不整脈、電気生理をライフワークとして取り組んでもらえるようになればありがたいと考えています。当方としてもできる限り協力させていただきます。」その言葉を胸に今を頑張ろうと思います。育児に少し余裕が出てきたときに皆様に恩返しできたらと考えています。本年もよろしくお願いいたします。

